

作成者 森涼子

1. 2014年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	73,685	103.6	⇒
支出	70,665	104.5	⇧
経常収支差額	3,020		⇩

評価：

ほぼ前年比横ばい



② 職員配置と研修（職員数は2015年1月現在）

職員数はほぼ適正であったが、男女比は女性が多く、男性が2名のみと極端に少ない状況であった。途中、パート職員の1名補充、1月末パート職員1名退職している。研修については今年度は外部研修に参加せず法人研修への参加を促進した。

③ 事業内容

前年度までと大きく変わりはないが、各班それぞれでの課題に取りくんだ。作業班では新たな作業の受注を行い、作業ニーズと個別ニーズの程度によりグループわけを考え始めた。手づくり班では行動障がいのある強い利用者に男性職員が対応できないことも多く、女性職員でも対応できる方法考えた。今年度は特に作業・手づくり班で「生活介護」という枠組みを意識し、職員協働で取り組んだ。以前から提案のあった、作業・手づくり班合同の行事として今年度は新年会を開催。うすと杵を使ってお餅つきを行なった。(写真)

④ 品質管理

6月に職員が事故の瞬間を確認できない事故が起こった。その後の対応について、ご家族から苦情があり、事故対応の方法を図式化した書面を作成している。
 経験年数を重ねてきている職員が、作業・手づくり班を共通して2班をみることで、メンバーの様子についての気づきが得られ支援内容が充実してきている。
 ご家族からの要望では送迎ニーズに対応できていないことが多い。車の台数、対応できる職員数に限りのある中で1人でも多くのメンバーに利用していただけるよう考えていく。今年度は家族会の開催が1度であった。これも家族からの要望もあり、次年度は複数回開催できるように計画する。

2. 2015年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	73,000	⇒	メンバー数は変わらないが利用日数が微増の予定。
支出	66,587	⇒	フロア床修理(10万円)、作業グループをわけするためのフロアの改造(100万円)電気室修繕(200万)など

② 主課題

今年度の課題を引き継ぎ、作業班では作業グループの区分けと重心プロジェクトの新大領への移行メンバーの選定を行い、ご本人の作業ニーズに合った活動を考えていく。手づくり班では生活や情緒の不安定さを抱えるメンバーが多く、休憩場所の設定や、視覚支援に取り組む。集団の中であっても、より個別ニーズの拾い上げが出来るよう班会議などで出された対応方法の共有を大切にしていく。

③ 年間事業計画(予定)

4月	お花見	10月	稲刈り交流会・避難訓練
5月	田植え交流会・避難訓練・旅行	11月	オガリンピック(運動会)・家族会
6月	春の班外出・家族会	12月	クリスマス会・年末休日事業
7月	バーベキュー・避難訓練・モニタリング	1月	新年会・モニタリング
8月	夏休み休日事業・モニタリング	2月	モニタリング・家族会・年度末三者懇談
9月	旅行・モニタリング	3月	年度末三者懇談・振り返りスライドショー